

# 平成28年度 相談支援・就業支援セミナー

「地域の中で支え合う共生社会の実現」～本人の暮らしを応援するためのチーム支援とは～

平成28年6月3日、障害者総合支援法の一部を改正する法律が公布されました。この趣旨は、障害者自らの望む地域生活を営むことができるよう、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実や高齢障害者による介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直しを行うとともに、障害児支援のニーズの多様化にきめ細かく対応するための支援の拡充を図るほか、サービスの質の確保・向上を図るとしています。

そのための具体的政策として、地域生活を支援するための新たなサービスとして11の施策が掲げられていますが、その中には、一人暮らしを希望する障害者を支援する「自立生活援助」、就労定着に向けた支援を行う「就労定着支援」、高齢障害者の「介護保険サービスを円滑に利用できる仕組み」など、相談支援事業や就業・生活支援センター事業に関連するものが多く、本セミナーの中でその内容について明らかにしていきたいと考えています。

また第4期障害福祉計画の中で、国は障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するよう求めています。これらについても平成27年度地域生活支援拠点等整備推進モデル事業の事例等を参考にしながら、徹底討論を行います。

さらに、今年4月14日と16日に熊本で大きな地震が発生しました。障害のある人たちの多くは環境の変化に弱く、避難所での生活が困難であるという人もいます。こうした人たちのために、東日本大震災、広島土砂災害に続いていち早く現地入りし、災害救助に当たった日本相談支援専門員協会の菊本氏にご講演をお願いするとともに、ミニシンポジウムにおいて熊本地震等実践場面の話を聞きながら、災害弱者に求められる相談や支援のあり方について、この機会にしっかりと学びたいと思います。

相談支援事業従事者や就業・生活支援センター職員、さらにサービス管理責任者など、本セミナーに関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時	平成28年10月18日（火）・19日（水）
会 場	東京ファッションタウンビル（東京都江東区有明3-6-11）
主 催	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 相談支援部会
対 象	障がい児・者の相談支援・就業支援に携わる関係職員等
定 員	400名
参加費	セミナー 11,000円／交流会 8,000円（任意参加）

## 【日 程】

### 第1日目【10月18日（火）】

12:30	13:00	13:10	14:10	15:10	15:30	16:30	17:30	18:00	19:30
受付	開会式	行政説明	講演①	休憩	講演②	ミニシンポジウム	移動	交流会	

### 第2日目【10月19日（水）】

9:00

12:00

第1分科会：ストレングスモデルにおける相談支援

第2分科会：地域生活支援拠点等整備推進モデル事業にみる、チームで支えるための地域づくり

第3分科会：障害者雇用の最前線～個性を生かした多様な働き方を考える～

## 第1日目 10月18日 (火)

### I 行政説明 13:10～14:10

『障害福祉施策の動向～障害者総合支援法の一部改正と相談支援の今後の方向性～』（仮題）

大平 眞太郎 氏

(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官)

### II 講演① 14:10～15:10

『発達障害者の自己回復と生活支援・就労支援』

近年の障害者施策の拡がりの中で、相談支援や就労支援についても従来の知的障害、身体障害、精神障害だけでなく、発達障害や高次脳機能障害、ひきこもり、罪を犯した障害者など、多様な人たちの対応が求められてきています。特に発達障害者との関わりについては、まだまだ理解不足の状態にあり、このため発達障害者を支援する当事者としてテレビやラジオでも活躍している広野ゆいさんをお招きし、当事者の立場からの生活支援や就労支援のあり方について、率直にお話を伺います。

広野 ゆい 氏

(特定非営利活動法人「発達障害をもつ大人の会」 代表)

### III 講演② 15:30～16:30

『災害時に求められる相談支援体制と行政との連携』

今年4月に熊本地震が発生し、今も支援が行われています。日本相談支援専門員協会がいち早く現地入りし、行政、熊本県相談支援専門員協会等と協議を行いながら、全国の相談支援専門員の派遣、県内の相談支援専門員による全戸訪問が行われました。災害初期・中期・後期にどのような支援が求められるのか、行政の役割、求められる相談支援体制などを現地支援の経験を通して振り返ります。

菊本 圭一 氏

(特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 代表理事)

### IV ミニシンポジウム 16:30～17:30

『災害から学んだ相談支援専門員の役割』

災害時に相談支援専門員が行った全戸訪問や関係機関との連携などがどのように進められたのか、熊本地震、広島土砂災害、東日本大震災等の実践場面の話を聞きながら災害時に必要な支援について考えます。

シンポジスト

一丸 善樹 氏

(太田川学園相談支援事業所 所長／相談支援部会 委員)

〃

後藤 政己 氏

(熊本県北部障害者就業・生活支援センターがまだす センター長／相談支援部会 委員)

助言者

菊本 圭一 氏

(特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 代表理事)

コーディネーター

戸田 健一 氏

(千歳市障がい者総合支援センター Chip 管理者／相談支援部会 委員)

### V 交流会 (任意参加) 18:00～

※諸事情によりプログラム・登壇者を変更する場合があります。

◆第1分科会◆

「ストレングスモデルにおける相談支援」

計画相談を通して、サービス提供事業所、相談支援事業所、行政が一体となって地域で支える仕組みができつつあります。一方で、人との関係や地域とのつながり、自分自身の人生が有意義なものとなるよう生きがいや希望を見出し、自己肯定感を高めていくための支援が必要になってきました。ここでは、ストレングスモデルにおける相談支援技法を理解し、新たなニーズへの対応方法について考えます。

講演

9:00~10:30

『ストレングスモデルにおける相談支援』

講師 菊本 圭一 氏 (特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 代表理事)

シンポジウム

10:40~12:00

『実践事例を通してストレングス支援を考える』

シンポジスト 吉田 展章 氏 (特定非営利活動法人 藤沢相談支援ネットワーク  
ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく 所長)

〃 川村 圭 氏 (社会福祉法人 竜雲学園 障害者相談支援センターりゅううん センター長)

助言者 菊本 圭一 氏 (特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 代表理事)

コーディネーター 富岡 貴生 氏 (相談センターゆいま〜る/相談支援部会 副部会長)

-----  
全体進行 森下 吉光 氏 (新川障害者就業・生活支援センター/相談支援部会 委員)

◆第2分科会◆

「地域生活支援拠点等整備推進モデル事業にみる、チームで支えるための地域づくり」

既存の地域資源の有機的な結びつきによる効率的・効果的な支援体制構築のため、平成27年度に地域生活支援拠点等整備推進モデル事業を行い、全国9か所のモデル事業の報告がまとめられました。個々人の相談内容から見える環境整備や社会資源創出などについてはこれまでも相談支援の現場で長らく課題となってきました。このことについては、自立支援協議会等の活動によって課題も明らかになりつつありますが、相談支援が目指している切れ目の無い支援体制の整備については未だ道半ばの状態にあります。モデル事業実施による地域づくりの課題や工夫を参考に、地域全体で支える支援体制について考えてみたいと思います。

行政説明

9:00~10:00

『平成27年度地域生活支援拠点等整備推進モデル事業の報告』(仮題)

講師 原 雄亮 氏 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 福祉サービス係長)

シンポジウム

10:10~12:00

『地域生活支援拠点等整備における課題と工夫について』

シンポジスト 岸野 則子 氏 (栃木市障がい児者相談支援センター 相談支援専門員)

〃 村上 和子 氏 (社会福祉法人 シンフォニー 理事長)

コーディネーター 戸田 健一 氏 (千歳市障がい者総合支援センター Chip 管理者/相談支援部会 委員)

-----  
全体進行 藤本 篤 氏 (宗友福祉会指定相談支援事業所/相談支援部会 委員)

## ◆第3分科会◆

### 「障害者雇用の最前線～個性を生かした多様な働き方を考える～」

今、政府は喫緊の課題として「一億総活躍社会の実現」を掲げています。この一億の中には、当然障害者も含まれており大いなる活躍が期待されていますが、実際には「働きたいという意欲がありながらも働く環境や機会に出会っていない」という人達も数多くいます。また近年の障害者雇用の広がりの中で、従来の知的障害、身体障害、精神障害だけでなく、発達障害や高次脳機能障害、ひきこもり、罪を犯した障害者など、多様な人達の就労支援が求められるようになりました。

当分科会は、こうした人達への就労現場での合理的な配慮や誰もが生き生きと働き続けられる環境をどのように整えていくかについて、最前線からの実践報告をもとに徹底討論を行います。

#### 行政説明

9:00～10:00

#### 『雇用現場での合理的配慮と今後の就労支援、生活支援の方向性』（仮題）

講師 香月 敬 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官）

#### シンポジウム

10:10～12:00

#### 『障害者雇用の最前線～個性を生かした多様な働き方を考える～』

シンポジスト 広野 ゆい 氏（特定非営利活動法人「発達障害をもつ大人の会」代表）

〃 北川 聡子 氏（むぎのこ児童発達支援センター 総合施設長）

西井由美子 氏（障害者就業・生活支援センター共生 センター長／相談支援部会 委員）

コーディネーター 小林 繁市 氏（社会福祉法人 北海道社会福祉事業団 参与／相談支援部会 部会長）

-----  
全体進行 松野 直之 氏（県南圏域障害者就業・生活支援センター「めーぶる」／相談支援部会 委員）

### 【大会内容に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 相談支援・就業支援セミナー 係  
(古屋・山本・三浦)

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階

TEL 03-3438-0466 FAX 03-3431-1803

### 【お申込みに関するお問い合わせ先】

株式会社 日本旅行 東京法人・コンベンション営業部

(田村(恵)・中村・末益)

〒160-0017 東京都新宿区左門町16-1 四谷TNビル4階

TEL 03-5369-3921 FAX 03-3225-1008